

5月10日は

地質の日

5月10日は
地質の日

見て！さわって！地球がわかる
5月10日を中心に全国でイベント開催

「地質の日」を記念して、全国の博物館や大学、研究機関で多くの講演会、特別展、見学会などのイベントが開催されます。この機会に、みなさんの住んでいる大地のことを学んでみませんか？みなさんのご参加をお待ちしております。



写真提供：中津川市鉱物博物館、横須賀市自然・人文博物館、産総研地質標本館

地質の日の由来

5月10日は、明治9年(1878)、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日です。

また、明治11年(1878)のこの日は、地質の調査を扱う組織(内務省地理局地質課)が定められた日でもあります。

地質の日事業推進委員会は全国で行われる地質の日の行事をバックアップしています。

地質の日事業推進委員会：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(独)産総研地質調査総合センター、日本堆積学会、日本第四紀学会、日本鉱物科学会、日本科学未来館、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構、(社)東京地学協会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、日本ジオパークネットワーク (順不同；2010年1月現在)

ここに用いた地質図は100万分の1日本地質図第3版と(財)日本水路協会海洋情報研究センターが作成した標高データJTOPO30を使用して作成しました。

【地質の日事業推進委員会事務局】

独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

TEL: 029-861-9122、FAX: 029-861-3672

各地域のイベント情報はこちらから

<http://www.gsj.jp/geologyday/>

